

In the Genes,
Taking Marvelous Meiji
Craftsmanship
into the Future

鹿角を使った月下美人の花弁。
花器に水を注ぐと
ゆっくり花が開く
驚きの仕掛け。

【木彫】大竹亮峯
(1989年生まれ)
《月光》2020年

2024
9/12 Thu
→ 11/10 Sun

【開館時間】9:00~17:00 (入館は16:30まで)

【休館日】9月30日(月)、10月21日(月)、10月28日(月)

【入館料】一般1,500(1,300)円/シニア・学生1,500(1,100)円

◎コレクション展セット券(当日券のみ) 一般1,600円、学生1,400円

◎前売り券およびオンラインチケットにて本展ご観覧の方は当日に限り、
コレクション展を100円でご覧いただけます。

※シニアは70歳以上の方、()内は前売り、オンラインチケットおよび20名以上の団体料金。

※高等学校、中等教育学校、特別支援学校に在籍の方等は無料。

※障害者手帳等をご持参の方とその介護の方1名は無料。

※前売り券は、ローソンまたはミニストップ店内のLoppi(Lコード:61647)、セブンチケットで
お求めください。オンラインチケットの購入については、当館ウェブサイトをご覧ください。

【主催】山口県立美術館、朝日新聞社、yah山口朝日放送

【協力】清水三年坂美術館 【監修】山下裕二(明治学院大学教授)

【企画協力】広瀬麻美(浅野研究所) 【特別協力】エフエム山口

【特別協賛】西京銀行

18歳以下
無料

山口県立美術館

<https://y-pam.jp>

◎会期中、一部展示替えを行います。

超絶技巧、未来へ！

明治工芸とそのDNA

蝶は「立体木象嵌」。
水滴は板全体を
彫り下げて浮き彫りにし、
研磨してツヤを出しています。

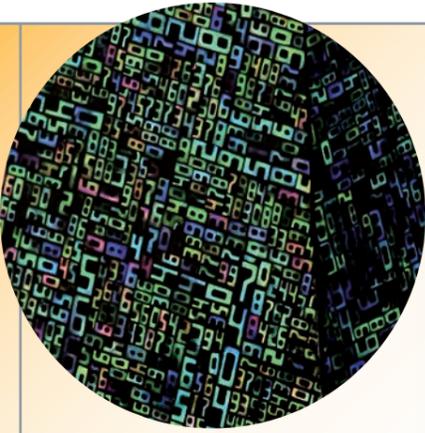
【木彫】福田亨(1994年生まれ)
《吸水》(部分)2022年



「超絶技巧！明治工芸の粹」展(2015)、「驚異の超絶技巧！明治工芸から現代アートへ」展(2018)で多くの人々を魅了した「超絶技巧」シリーズの第3弾。

このたびは、金属、木、陶磁、漆、ガラス、紙などの多様な素材に、鍛錬を重ねた技法を駆使して向き合い、新たな表現領域に挑む17名の現代作家たちの作品を紹介します。

また超絶技巧のルーツでもある七宝、金工、漆工、木彫、陶磁、刺繍絵画などの明治工芸の逸品もあわせて展示。明治工芸のDNAを継承しつつ、独自の美意識を貫く作家たちが繰り出す驚きの超絶技巧の数々に注目ください。



【漆工】

池田晃将 (1987年生まれ)
《百千金字塔香合》
漆、木曾檜、鮑貝、金 2022年
虹色の数字で彩られたピラミッドは、漆器に極小の貝片を貼ったもの。



1, 2, 3, 4...
漆に数字?
貝を嵌め込んで
いるのです。

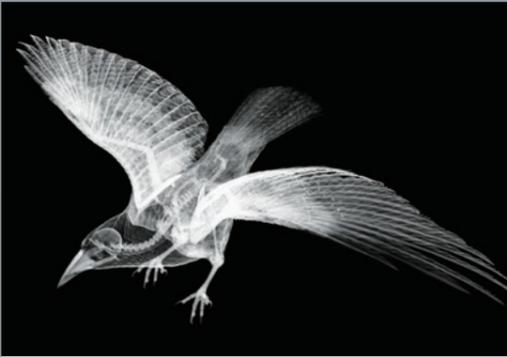


【木彫】

前原冬樹 (1962年生まれ)
《『一刻』スルメに茶碗》
朴、油彩、墨 2022年

パーツを組み合わさることなく、
1本の角材を切り、削り、彩色した一木造り。

上の鎖から
下の足先まで
一本の木から
彫り出された木彫!



CTスキャン画像

【金工】

本郷真也 (1984年生まれ)
《Visible01 境界》
鉄、赤銅、銀 2021年
鉄を金づちで叩く鍛金技法によるカラス。
内部には骨格と筋肉までも表現されている。

先に
骨格と筋肉を作り、
羽を1枚ずつ
重ね付けたカラス。



稲崎栄利子 (1972年生まれ)
《Euphoria》
陶土、磁土、金彩、雲母銀
2023年

土のリングが織りなす
布のように軽しなやかな磁器。

【陶磁】

曲げる、捻る、
たたむなど
自由自在!



あの超絶技巧展がパワーアップして帰ってきます!

【七宝】

並河靖之 (1845-1927)
《草花図花瓶》
清水三年坂美術館蔵

並河七宝には珍しい30センチを超える大作。
黒色釉を背景に、草花をカラフルに表現。



【牙彫】

安藤緑山 (1885-1959)
《柿》
清水三年坂美術館蔵

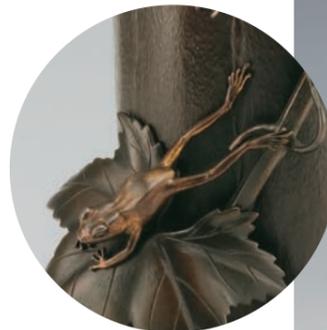
「美術館に果物?! 野菜?!」でおなじみの
人間3Dプリンター・緑山による象牙彫刻の枝柿。



【金工】

正阿弥勝義 (1832-1908)
《糸瓜花瓶》
清水三年坂美術館蔵

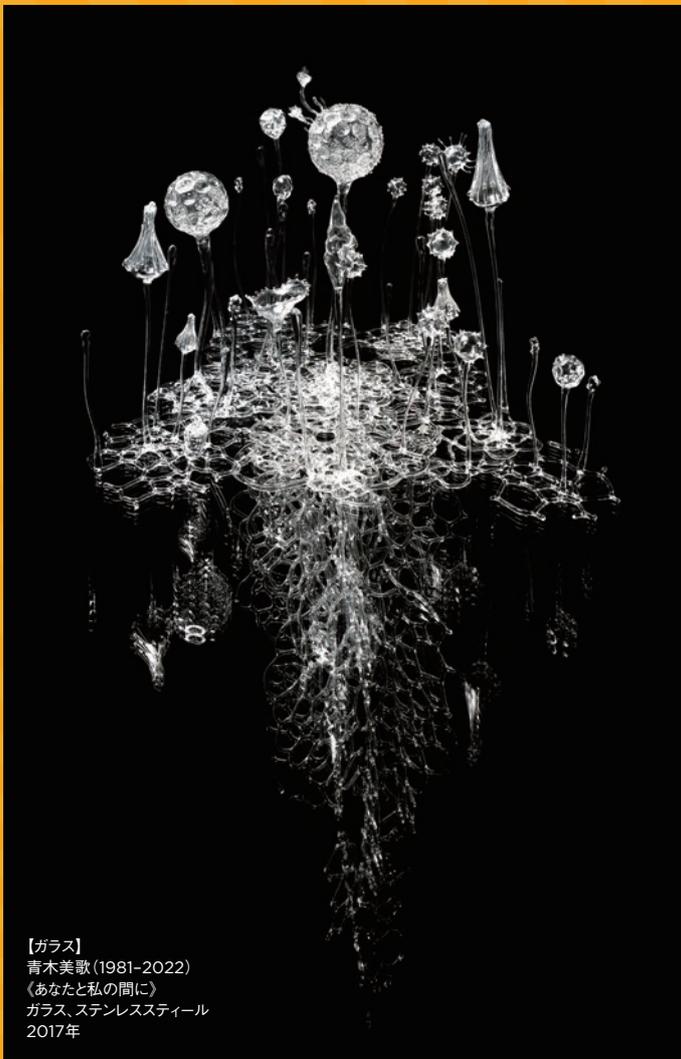
へちまの陰から現れたへびに気付き、
逃げ出すカエル。生き物による一瞬の
ドラマを捉えるのが、勝義の得意技。



【漆工】

白山松哉 (1853-1923)
《羽根蒔絵香合》
清水三年坂美術館蔵
吹けば飛ぶような鳥の羽毛。
極細の線描から生みだされる神技の蒔絵。





【ガラス】
青木美歌(1981-2022)
《あなたと私の間に》
ガラス、ステンレススティール
2017年

展覧会イベント

トークイベント

「超絶技巧、最年長VS最年少!」

2024年9月28日(土) 13:30~15:00

本展監修者の山下裕二氏とともに、出品作家のなかで最年長の前原冬樹氏(1962年生まれ)と最年少の福田亨氏(1994年生まれ)が、超絶技巧のいま、そして未来について熱いトークを繰り広げます。



山下裕二氏



前原冬樹氏



福田 亨氏

【講師】山下裕二(本展監修者、明治学院大学教授)

前原冬樹(本展出品作家、木彫)

福田 亨(本展出品作家、木彫)

【会場】山口県立山口図書館レクチャールーム

【定員】150名(先着順)／要申し込み

聴講無料 ※ただし、本展の入場券が必要です。

【申し込み方法】

参加希望のイベント名、①お名前(代表者)、②参加人数、③住所、④電話番号を明記の上、ウェブサイトの申し込みフォームまたは往復はがきでお申し込みください。当館より折り返しご連絡いたします。

学芸員によるギャラリートーク

9月14日、9月21日、10月5日、10月12日(いずれも土曜日)

10:00~(45分程度)／事前申し込み不要

In the Genes, Taking Marvelous Meiji Craftsmanship into the Future



【木彫】
岩崎 努(1972年生まれ)
《さくらんぼ》
楓、水干絵具、胡粉、膠、漆
2021年

◎出品現代作家(五十音順)

- | | |
|----------------|---------------|
| 青木美歌【ガラス】 | 彦十蒔絵 若宮隆志【漆工】 |
| 池田晃将【漆工】 | 樋渡 賢【漆工】 |
| 稲崎栄利子【陶磁】 | 福田 亨【木彫】 |
| 岩崎 努【木彫】 | 本郷真也【金工】 |
| 大竹亮峯【木彫】 | 前原冬樹【木彫】 |
| 織田隼生【金工】 | 松本 涼【木彫】 |
| 蝸牛あや【刺繍】 | 盛田亜耶【切り絵】 |
| 小坂 学【ペーパークラフト】 | 山口英紀【水墨画】 |
| 長谷川清吉【金工】 | |



◎交通案内

JR新山口駅から山口線に乗り換え山口駅下車、徒歩約15分
JR新山口駅から防長バス山口行きで約30分
JR防府駅からJRバス山口行きで約1時間
[山陽自動車道] 防府東ICから車で約25分
[中国自動車道(広島方面から)] 山口ICから車で約15分
[中国自動車道(九州方面から)] 小郡ICから車で約25分
※駐車場は美術館周辺の各駐車場をご利用ください。
P 特設駐車場は無料。(200台)
Pは無料。(P)は最初の1時間のみ無料となります。
(1時間無料券を配布しますので駐車券をお持ちください)
県庁駐車場は土・日曜、祝日のみ開放となります。

山口県立美術館

〒753-0089 山口県山口市亀山町3-1 tel.083-925-7788

<https://y-pam.jp>